

イーメディカル東京、Neuspectiveと連携し、生成AIによる 読影レポート支援システムを導入

～読影レポートのさらなる品質向上と業務負担の軽減を目指して～

遠隔読影サービスを提供する株式会社イーメディカル東京（本社：東京都中央区、代表取締役：橋野 紘樹、以下「当社」）は、株式会社Neuspective（東京都中央区、代表取締役CEO：武田 康宏）と連携し、同社が開発した生成AIを活用した読影レポート支援プロダクト（以下「本プロダクト」）を導入いたしました。

導入の背景と目的

遠隔読影では、依頼元の医師からの要望や臨床情報が読影医に十分に伝わらない場合があります。それにより読影レポートが期待に沿わない内容となるケースが見受けられます。こうした課題に対応するため、当社ではこれまで、診療放射線技師が依頼症例の検像や読影レポートの確認を担うことで、サービス品質の向上に努めてまいりました。

しかし近年、検査件数の増加や医師の働き方改革に伴う制約により、迅速かつ正確なレポート作成がより一層求められ、読影医や診療放射線技師の業務負担が増大しています。

こうした背景のもと、AIの力を活用して業務を支援し、レポートの品質を維持・向上させながら業務負担を軽減することを目的に、Neuspective社の本プロダクト導入を決定しました。

本プロダクトの概要

Neuspective社が提供する本プロダクトは、読影レポートの内容について以下7項目の自動チェック・修正提案を行います

- 依頼内容への回答漏れ
- 性別に起因する記載ミス
- 左右表記の不整合
- 所見・診断欄の記述不一致や記述の重複
- テンプレート文の削除漏れ
- 専門用語を含む誤字脱字
- 日本語としての文法・表記ミス

導入前の検証段階において、90%以上の精度で誤りを検出できることが確認されており、当社の運用現場にも効果的にフィットすると判断しました。

今後の展望

今後は、実際の運用を通じて本プロダクトの精度や利便性をさらに高めるとともに、Neuspective社と協力しながら継続的な改善と現場最適化を図ってまいります。

当社は、AI技術を積極的に取り入れ、読影サービスの更なる品質向上と業務の効率化を推進し、医療機関と患者さまの双方にとって信頼性の高い医療提供体制の構築に貢献してまいります。

会社概要

株式会社イーメディカル東京

所在地：東京都中央区銀座7丁目15-5 共同ビル2階

代表者：代表取締役 橋野 紘樹

URL：<https://www.emedicaltokyo.co.jp/>

株式会社Neuspective

所在地：東京都中央区日本橋2-2-3 RisheビルUCF402

代表者：代表取締役CEO 武田 康宏

URL：<https://neuspective.com/>